

令和元年度 第3回福岡県アレルギー疾患医療連絡協議会 議事録

日時：令和2年2月18日（火）17：30～18：30

場所：行政棟 特9会議室

※議事録の文章は、実際の発言の趣旨を損なわない程度に、読みやすく整理したものです。

（司会）

定刻になりましたので、ただいまから、令和元年度第3回アレルギー疾患医療連絡協議会を開催させていただきます。

委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、お集りいただきまして誠にありがとうございます。私は本日、司会進行を務めさせていただきます、がん感染症疾病対策 疾病対策係長の永島でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本来ならば、ここで当課課長の佐野から御挨拶を申し上げるところでございますが、業務の都合により、欠席させていただきます。

誠に申し訳ございませんが、御理解賜りますようよろしくお願いいたします。

なお、北九州市保健福祉局の田原委員、福岡市保健福祉局の山西委員につきましては、業務の都合により、欠席の御連絡をいただいておりますので御報告を申し上げます。

また、本日の協議会は公開としておりますが、傍聴者はございません。議事の内容につきましては、ホームページに掲載予定でございますので御了承いただきますようお願いいたします。

ここで、お手元の資料の確認をさせていただきます。

【配布資料の確認】

資料の不足等ございませんでしょうか

ここからの議事進行につきましては、西間会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

（西間会長）

それでは、議事に入ります。始めに、福岡県アレルギー疾患対策推進計画案についてです。

本日の協議会で、計画の内容を決定したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

前回の協議会で御協議いただいた結果、修正が必要な部分がありました。また、1月にパブリックコメントが実施されておりますので、まずは事務局から、それらの説明をお願いします。

【事務局説明】

（西間会長）

ありがとうございました。前回の計画案からの変更点とパブリックコメントの報告がございま

たが、これについて何か御意見、御質問ございますでしょうか。前回の会議で出た意見は、取り込んでいると思いますが。

いかがですか。この内容で決定いたしますが、御意見ございますでしょうか。

【異議なし】

それでは、この計画案で決定するということとなりますが、今後の進め方について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

本日お配りいたしました計画案で御承認いただいたこととさせていただきます。

この内容をもって県内部の決裁を取りまして、策定し、最終的に公表というかたちで進めさせていただきます。

(西間会長)

それでは事務局は手続きを進めてください。

続きまして、福岡県アレルギー疾患医療拠点病院の取り組み報告です。

本年度の拠点病院の取り組みについて、本年度はまだあと1か月程度ありますが、現時点の取り組みを御報告をお願いします。

【吉田委員 報告】

(西間会長)

ありがとうございます。

ただいまの報告につきまして、御意見や御感想、今後の要望などございますでしょうか。

初年度というところもあって、計画性からいうと不十分なところはあったかと思えます。

今、吉田委員から話があったように、来年度は、福岡県を広域的にどう実施するかという点が大きなテーマではないでしょうか。

また、どのように広報して、多くの参加者を集めるか、そして、資料の「人材育成」の部分にありますように、今回、講師が福岡病院に偏っておりますので、講師を育てるという意味からも、講師も広域に集めていくということが必要だと思えますが。

御意見、いかがでしょうか。

(田中委員)

今回の人材育成で、たくさんの方が参加されていますが、福岡市内の参加者が多いのでしょうか。それとも、県内全域から来られていたのでしょうか。

(西間会長)

地域別の参加者ですね。

(事務局)

御参加いただいた方々の名簿を見ますと、やはり福岡市内で開催されているというところもございまして、福岡市近隣の方々に多く参加いただいておりますが、久留米市や北九州地域の方々も御参加いただいております。

(西間会長)

地域別の集計はしていませんか。

(福岡病院 杉山先生)

地域別でも出します。

(西間会長)

せっかくですから、次回、職種別、地域別で出していただきましょう。

ほかにいかがでしょうか。

(古江委員)

せっかくいろんな分野で実施されていますので、講演をビデオで撮って、ビデオ講義のようなものができればいろんなところで実施できる気がします。何かもったいないように感じたところです。

ビデオ講義はあまりお金もかかりませんし、講師が入れ替わる5分間程度の隙間の時間を編集してカットできるので、今回よりも短縮して受講できるので、40分ぐらいで全部視聴できるというメリットがあるので結構いいのではないかと思います。ぜひ検討していただければと思います。

(吉田委員)

御意見ありがとうございます。非常に魅力的な御意見ですので、ぜひ検討したいと思います。

ウェブ講演会は非常に盛んに行われていますが、こちらは施設の問題が大きいので、おそらく、ビデオ講演の方がすぐにでもできそうな気がいたしました。また検討しましょう。

(事務局)

検討させていただきます。ありがとうございます。

(西間会長)

全国的には、東京で開催したものを全国4～5か所の会場で同時配信でやっていますが、これには大きな欠点が1つあります。質疑応答で、主会場でのやりとりはできるのですが、ウェブ会場はタイムラグといますか、時間が結構かかります。

過去に、1会場、アレルギー専門医を置いた会場がありましたが、その専門医がある程度解説できましたので、その地域の医者が解説するという工夫は良いかと思います。ただ、その地域に専門医がいなければなかなか難しいですね。

ですので、これはいくつも展開のしようがあると思います。

(田中委員)

もう一点。こういう研修会に参加した場合に、各職種で単位がもらえるということになると、さらに参加者が増えるように思いました。

(事務局)

医師の先生方には日本医師会生涯教育の単位が取れるようにしておりますし、栄養士、薬剤師の単位、アレルギー学会の単位も取得できるよう手続きをさせていただきました。

(吉田委員)

他の職種に広げる余地はあるのでしょうか。

(事務局)

単位取得ができるものについては手続きをさせていただいているかと思います。

(吉田委員)

だいたい網羅できているということですね。

(事務局)

そうですね。また確認させていただきます。

(古江委員)

最近、いろんな講演会で流行っているのが、出席者の質問と講師の回答をQ&Aというかたちでまとめてウェブに掲載する、というものがあります。今回は15題程講演がありましたので、それぞれQ&Aが1個でも2個でもあれば、10個以上のQ&Aができます。それを後から見た人は勉強になるかと思います。

(事務局)

ありがとうございます。

(西間会長)

ほかにはいかがでしょうか。

(田中委員)

サマーキャンプについて教えていただきたいのですが、小児科でぜん息等のアレルギー疾患のある方は、他の医療機関でもこういったことをされているのですか。昔、東佐賀病院の方でやっていたと記憶していますが。

(西間会長)

福岡病院は昭和 48 年からやっております。その後も各地で、気管支ぜん息の子どもを中心にサマーキャンプが行われていましたが、ぜん息がある程度コントロールできるようになって、あまりそのニーズが高くなかった頃に食物アレルギーやアトピー性皮膚炎が多くなってきて、「アレルギーキャンプ」というかたちに変更してきました。

今は、キャンプとなると事故防止の配慮が必要になってきて、全国的にはもうほとんどキャンプはやられなくなりました。

水泳教室も全国各地で行われていたが、プールを持つ病院もなくなって、水泳教室でなくても運動療法は十分にできるということから、水泳教室もほぼなくなりました。

(内尾委員)

西間先生がやっておられるアレルギー週間の一般向けの講演会は、この「人材育成」とは別であるということでしょうか。

(西間会長)

アレルギー週間の講演会は日本アレルギー協会九州支部として開催していますが、去年、一昨年は、日本アレルギー学会九州地方会との兼ね合いで、整理ができず混乱していました。

来年からは、きちんと整理できて、日本アレルギー協会と日本アレルギー学会は、同日ですが、別々に開催します。

今後は、県拠点病院として行う研修会が新たにありますので、この整理も、県、拠点病院、学会、協会とで、早めに年次計画を出して調整することが必要ですね。

先生方にやっていただいております講演会は今後も継続してあります。

(内尾委員)

日本アレルギー学会では人材育成はやっておりますけど、一般向けが入ってなかったの、どういふかたちになるのかなと思ひまして質問させていただきました。

(西間会長)

ちょうど拠点病院ができたので、それぞれ整理をする良い機会かと思ひます。

那珂川市や春日市でのアレルギー相談を実施しましたが、講師の派遣も、どこか窓口を通して一般的に整理できるかたちにした方が良いでしょう。北九州市や久留米市等の地域でも実施できるよう、その依頼を受ける窓口を整理していかなければいけないでしょう。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか、

今後ともいろいろと変化があるかと思ひますが、よろしくお願ひします。特に拠点病院の役割は非常に大きいので、引き続きよろしくお願ひします。

予定していた議事はすべて終わりましたが、そのほか皆様から何かございませんでしょうか。

(大部委員)

パブリックコメントに学校給食のことがかなり多く出ていました。各市教育委員会に情報提供されるとのことでしたが、各市教育委員会の回答について御報告はあるのでしょうか。

(事務局)

実は、本日、行政委員として御出席いただく予定でした福岡市と北九州市に、学校給食に関するパブリックコメントについて御質問があがった場合に御回答いただく予定にしておりました。

その件につきましては、福岡市、北九州市に確認をとりまして、必要に応じて情報提供させていただきたいと思えます。

(大部委員)

私も昨年まで大学に勤めておりましたけれども、学生を実習に出すにも、事故につながるので、アレルギーのことをしっかりと教えていかないとはいけません。その点をぜひ教えていただきたいと思えます。

(西間会長)

食物アレルギーは、昨年、厚労省から保育所関係のガイドラインが出ました。そして、文科省からも学校向けガイドラインが来月末頃に公表される動きがあります。

これらの内容については、関係者からなかなか理解が得られていない部分もあるので、今回のこの会議で、現在、整理されている点と、これから整理が必要であろう部分を、一度説明した方が良く考えています。

ただ、私が現場に言っているのは、今までやってきたことはそのとおりにやっていくということです。市町村は、我々の方で整理をした後に対応方針を変えていく、ということです。「何かが出たからすぐに変える、というものではありませんよ」と話しをしているところです。

「何か事故があったらどうするんだ」という意見もあります。今まで事故が起きてないのであれば、まずはしっかりと固めるよう話をしています。

そして、県と政令市とでやり方が全然違うというわけでは困りますので、4月、5月頃に早急に県と北九州市、福岡市のすり合わせを行いたいと思えます。

もしも、食物アレルギーで何か問題が起きた場合は、「ただいま問題点は認識して、検討しております」と答えてもらって、粛々と今のかたちで、事故が起きないようにやっていただきたいと思います。

他にいかがでしょうか。

県の方から何かありますか。

(事務局)

ありません。

(西間会長)

よろしいですか。

それでは、本日予定していた議事はすべて終了いたしました。

(司会)

西間会長、ありがとうございました。

先ほど、担当から御説明させていただきましたアレルギー疾患対策推進計画につきましては、本日の協議会をもって承認いただいたということで、県内部の決裁をとりまして、3月末を目途に公表させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

また、委員の皆様方におかれましては、長時間に亘り御協議いただき、誠にありがとうございました。

これもちまして、令和元年度第3回福岡県アレルギー疾患医療連絡協議会を終了させていただきます。